

広報普及啓発WG

【ワーキングの目的】

里山広葉樹の利活用・再生の意義を広く社会に発信し、一般消費者・企業の関心・理解を促すことにより、国産広葉樹製品の需要創出と選択的利用につなげるとともに、設立団体の会員獲得・拡大を図る。

【WGでの検討内容】

令和8年7月31日に第1回WGを開催し、本年度の具体的な取組（以下）を検討。

1. ウェブサイト「里山広葉樹ポータル(仮)」の構築

- ・ 里山広葉樹の利活用と再生に関する情報を集約したウェブサイトを構築し、12月中旬（モクコレ前）に公開予定。
- ・ 発起人の皆様には、製品データベースへの製品登録を依頼させていただく予定。
- ・ 団体設立後に、組織情報や会員限定ページ等を追加することを想定。

2. WOOD コレクション(モクコレ)2026 Plus への出展

- ・ 開催日・場所： 12月24日(木)・25日(金) @東京ビッグサイト
- ・ 1のウェブサイトのコンテンツに沿った展示内容を想定。
- ・ 展示レイアウト等が決まり次第、展示・頒布用の広葉樹製品（サンプル）の貸与・提供について、協力いただける発起人の皆様に個別に相談させていただく予定。
- ・ 来場者へのアンケートを実施予定。

3. 団体ロゴの作成

- ・ 団体設立の公表後、ロゴデザインを公募し、審査を経て決定する予定（1～3月）。

4. SNS の開設

- ・ Facebook 及び Instagram のアカウントを開設予定。

【今後のスケジュール】

第2回WGを11月前半に開催予定。

年	2026				2027			
月	9	10	11	12	1	2	3	4～
1.ポータル	構築	→	→	公開	運用→	→	→	追加構築
2.モクコレ	準備	→	→	→開催	アンケート分析			
3.ロゴ	公募準備	→	→	→	公募開始	→	審査・決定	商標登録
4.SNS		運用開始	→	→	→	→	→	→

情報共有・サプライチェーンWG

【ワーキングの目的】

広葉樹を取り扱う事業者や、原木や加工品の需給情報について、ヒトとモノに区分して必要な情報を整理し、相互に共有可能な仕組みを構築するとともに、サプライチェーン構築に関する課題やその解決策の整理等を行い、地域におけるサプライチェーンの構築を促進させる。

【WGでの検討内容】

令和8年9月1日に第1回のWGを開催。以下について検討・報告。

1. エントリーシートの作成

- ・森林所有者、素材生産事業者、木材加工業者、家具等のメーカー、きのこ生産者などの、ヒトとモノのエントリーシート（以下、ES）について議論。
- ・ESは、主要な項目を絞り込み、会員同士のコミュニケーションのきっかけとなるものとするのが望ましいのではないか、という意見があった。一方、端材、副産物の掲載や、自社の不得意な部分を補える者がどこかという情報があってもよいのではないか、という意見もあった。
- ・いただいた意見を踏まえ、事務局にて修正中。後日、本WGの皆様へ照会予定。

2. 情報共有の仕組みについて

- ・当面は、ESをHPの会員限定ページに掲載する。（HPについては、広報WGより報告）
- ・将来的なマッチング機能について検討中。

3. 委託事業（受託者：価値総研）の実施状況（報告）

- ・家具、スポーツ用品、伝統工芸品、建材の団体に対し、広葉樹の入手状況や必要な品質・規格に関する団体会員へのアンケートの協力依頼及び案の相談を実施中。
- ・広葉樹SCが新たに構築された地域の調査を実施中。

【今後のスケジュール】

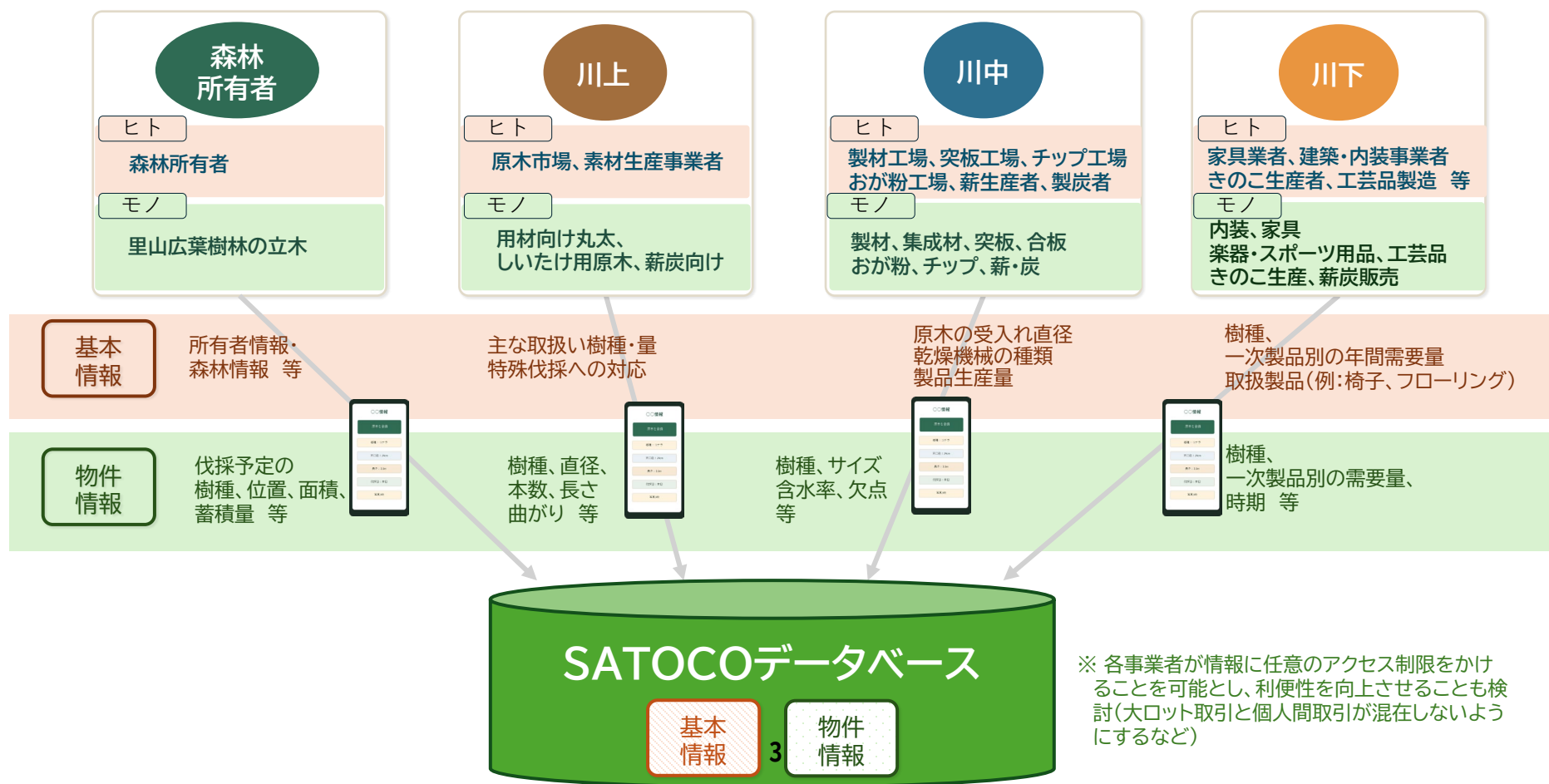
12月上旬までに第2回WGを開催予定。

年	2026				2027		
月	9	10	11	12	1	2	3
会議等	第1回WG		第2回WG	3回発起人会議			
ESの検討 ESの共有方法	修正案の照会 ESに合わせて検討	→ →	記載例の作成 →	ES確定 方針の確定	記載例の充実	→	→
アンケート調査	アンケート開始	回収	現地調査	納品・共有			
事例調査	→	→	→	納品・共有			

広葉樹のヒトをつなげる、モノをつなげる

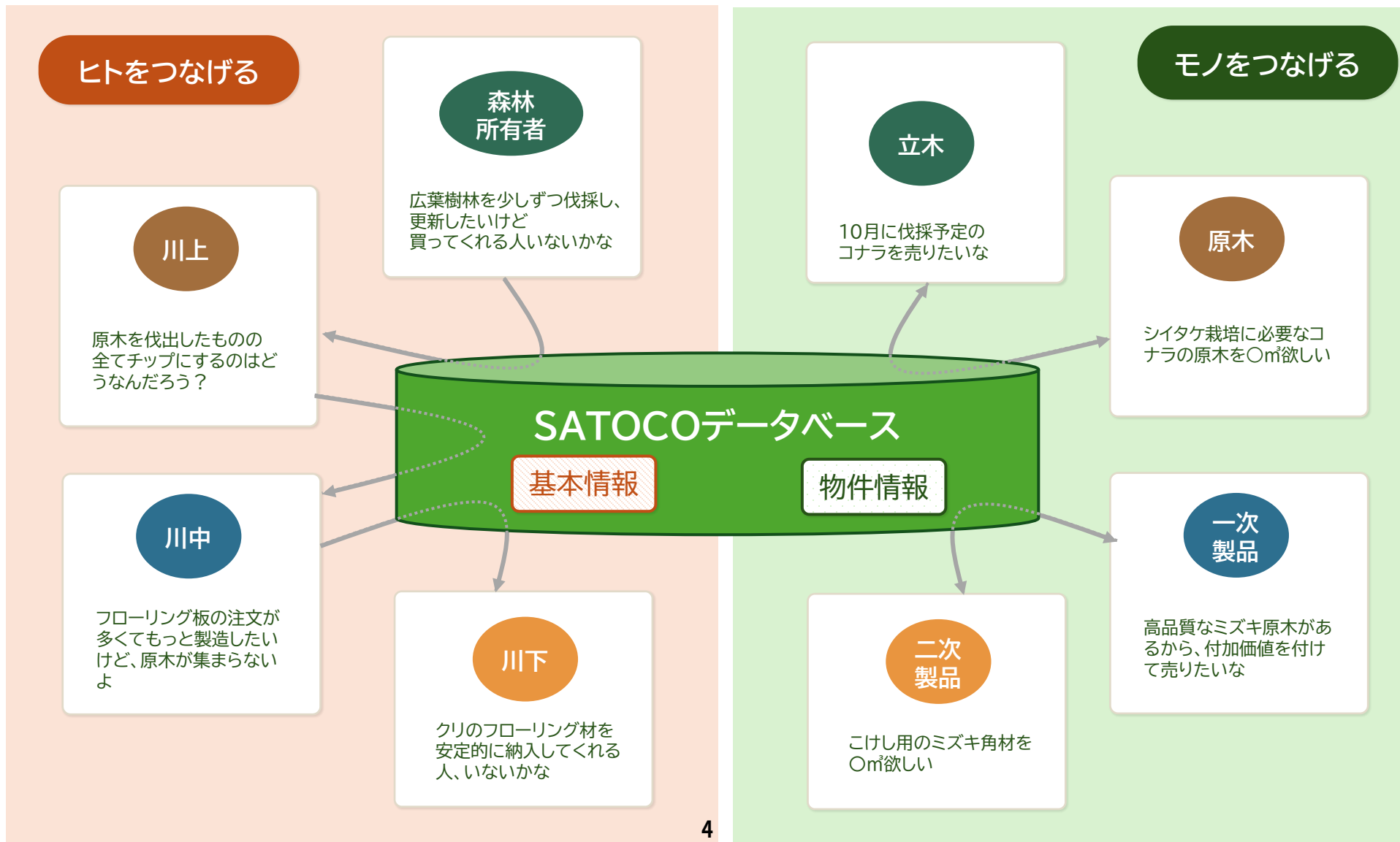
- 広葉樹流通の最大の課題である「情報の分断」を解消
- これまでブラックボックスだった広葉樹の需給情報を見える化

- ✓ 会員の情報(基本情報)を一元管理するデータベースを構築し、関係者をデータベース化することで、これまで見えにくかった取引機会の創出、最適取引先を検索し見つけることが可能に。
- ✓ 広葉樹材の「需要情報(買いたい)」「供給情報(売りたい)」「(物件情報)」を一元的に収集・提供し、アプリ・インターネットで簡単に検索でき、需要供給のマッチングが可能に。



広葉樹のヒトをつなげる、モノをつなげる

SATOCOデータベースの活用イメージ



検索条件 [リセット](#)

キーワード検索

〇〇△△

取扱い樹種

ケヤキ

取扱製品

原木

所在地

関東エリア

区分

☐ 森林所有者☐ 川上☒ 川中☒ 川下年間取扱量(m³)

40

～

1,000

認証

FSC認証

保有設備

プレーナー、NC加工機

その他条件

含水率15%以下

 この条件で検索

検索結果

23件

[一覧表をCSVで出力](#)表示順: [新着順](#)

1

2

3

4

...

>



常陸コナラ銘木店

川中

川下



【所在地】茨城県桜川市

【業種】銘木販売・オーダー家具材供給

【取扱樹種】コナラ、ミズナラ、ケヤキ、クリ、イチヨウ

【主な製品・用途】

一枚板テーブル、カウンター材、店舗内装材、オーダー家具

【年間取扱量】800m³

【認証】FSC® CoC認証、茨城県産材利用推進事業登録

【概要】

樹齢80年以上の国産コナラを厳選。自然乾燥による美しい木目と高い耐久性を活かし、住宅・店舗向けの高品質広葉樹材を提供しています。

商品情報（自社サイト・カタログ）

公式サイト <https://www.konara-wood.co.jp>カタログ <https://www.konara-wood.co.jp/catalog> お気に入りに登録済み メッセージ[詳細はこちら >>](#)

木俣製材株式会社

川中



【所在地】群馬県館林市

【業種】製材・乾燥

【取扱樹種】ケヤキ、クリ、ヤマザクラ、ミズキ

【主な製品・用途】

フローリング材、建具材

【年間取扱量】1,200m³

【認証】FSC® CoC認証、広葉樹製材JAS対応

【概要】

国産広葉樹の製材・乾燥加工を専門とし、原木調達から製品供給まで一貫対応。フローリングや内装材向けの高品質な木材を安定供給しています。

商品情報（自社サイト・カタログ）

公式サイト <https://www.kimata-zai.co.jp> お気に入りに登録 メッセージ[詳細はこちら >>](#)

検索条件 ☒ 買いたい ☐ 売りたい

キーワード検索

〇〇△△ 

樹種

コナラ 

用途・製品

家具材（テーブル・椅子等） 

地域（原産地）

関東エリア 

希望納期

2026/9/1 ～ 2026/10/1

数量

5 ～ 100

認証

FSC認証 

品質・芯辺

節少なめ 

その他条件

含水率15%以下  この条件で検索

検索結果 12件

表示順： 新着順 1 2 3 4 ... 山の恵み林業

【所在地】滋賀県草津市

【樹種】コナラ、クヌギ

【主な製品・用途】

原木（楢木、チップ用）

【納期】注文後30日以内

【数量】20m³

【その他】直径15cm前後、長さ3m以内で玉切り可能

【概要】

滋賀県草津市を拠点に、コナラ・クヌギの原木を安定供給。楢木やチップ用材として、用途に応じた玉切り加工にも柔軟に対応します。

商品情報（自社サイト・カタログ）

公式サイト <https://www.maru-sankaku.co.jp> お気に入りに登録済み メッセージ詳細はこちら 広木フローリング

【所在地】和歌山県かつらぎ町

【樹種】コナラ、クリ、その他広葉樹

【主な製品・用途】

フローリング

【納期】注文後60日程度

【数量】20m³～

【その他】

【概要】

熟練した職員による、洗練された目利き・加工技術により高品質なフローリングを販売します。

商品情報（自社サイト・カタログ）

SNS <https://forestlink.jp/xx-ringyo> 6 お気に入りに登録 メッセージ詳細はこちら 

エントリーシート（基本情報）

森林所有者案

< 必須項目 >

基本情報	所有者名	〇〇
	住所	〇〇県〇〇市〇〇
	業種・属性	森林所有者
	（法人の場合）従業員数	〇名
	（法人の場合）資本金	1,000万円未満
森林情報	所在地	〇〇県〇〇市、〇〇町
その他	PFへの参加目的	
	抱えている課題	
連絡先	担当者名	
	電話番号／メールアドレス	

< 任意項目 >（ここからの記載は任意になります）

基本情報	森林組合への所属	〇〇森林組合
森林情報	所有林規模（うち広葉樹林）	合計30ha（5ha）
	現地案内の可否	可

エントリーシート（基本情報）

川上~~（例：素材生産事業者）~~案

＜必須項目＞

基本情報	事業者名	〇〇株式会社
	住所	〇〇県〇〇市〇〇
	業種・属性	素材生産事業者
	従業員数	〇名
	資本金	1,000万円未満
事業概要	対応可能エリア	〇〇市一円
その他	PFへの参加目的	
	抱えている課題	
連絡先	担当者名	
	電話番号／メールアドレス	

＜任意項目＞（ここからの記載は任意になります）

基本情報	技術者現場作業員数	〇名
事業概要	会社 の年間伐採数量（広＋針）	〇m ³
	うち 広葉樹の伐採数量	〇m ³
	うち 主な樹種	ケヤキ、コナラ等
	一日当たりの生産量	〇～△m ³ 程度
	森林認証 （FSC、SGEC）等	FSC取得（又は、取得の意向あり）
	合法木材供給認定事業者の認定	有
	森林調査の方法	ドローン、標準地など
	保有する林業機械	スキッダ2台、フォワーダ2台
	作業方法	チェーンソー伐倒、スキッダで運材
	特殊伐採の可否	可能（応相談）
	対応可能時期	冬その他業務がない時期
	作業比率	国有林：公有林：民有林（社有林含む）
	販売方法	〇〇原木市場での委託販売
	直接取引の可否	可能（応相談）
今後の展望	今後の自社での取組	従業員を増やし素材生産量を拡大する方向
	今後の周辺の動向	ナラ枯れが発生し、拡大しつつある

エントリーシート（基本情報）

川中~~（例：製材工場）~~案

< 必須項目 >

基本情報	事業者名	〇〇株式会社
	住所	〇〇県〇〇市〇〇
	業種・属性	製材工場
	従業員数	〇名
	資本金	1,000万円以上5,000万円未満
事業概要	取扱 材 樹種	コナラ、アベマキ、・・・
その他	PFへの参加目的	
	抱えている課題	
連絡先	担当者名	
	電話番号／メールアドレス	

< 任意項目 >（ここからの記載は任意になります）

基本情報	技術者数	〇名
事業概要	昨年の 入荷購入 実績	コナラ600m ³ 、アベマキ100m ³ 、・・・
	取扱製品	板（幅〇～△cm×厚さ〇～△cm×2 m以内、・・・）
	昨年の 出荷販売 実績	コナラ〇m ³ 、アベマキ〇m ³
	製品の用途	家具、楽器
	製材能力	元口60cm、6 m材まで対応
	乾燥能力	天然乾燥＋中温乾燥で含水率15％まで対応可能
	保有設備	乾燥機（〇〇社：型番××） 〇m³サイズ 1台
	所有乾燥機	〇〇社製の△△。〇m³乾燥可能な中温乾燥機
	賃加工の可否	可。一本当たり〇千円から。
	対応可能な時期	秋頃
	保存処理の可否	可の場合は薬剤名
	JAS認証	広葉樹製材JAS
	森林認証 情報	FSCのCoc認証（又は、取得の意向有り）
	合法木材供給認定事業者の認定	有
	在庫の樹種	コナラ、アベマキ、ヤマザクラ・・・
	原木 在庫の収容能力	原木で 〇〇m ³ 程度。現在△割程度埋まっている。
	天然乾燥中の 半製品 の材積	半年間の乾燥期間中のものが〇m ³ 程度
	製品在庫 の収容能力	〇m³程度
	副産物の販売	背板、おが粉も販売可能
	製品 等 や 加工 写真	あり（クリックすると写真へ）
	納品実績	〇〇のフローリングなど
今後の展望	今後の自社での取組	保有している乾燥機を更新する予定
	今後の周辺の動向	受注増加に伴い、新規の受注が困難になる可能性

エントリーシート（基本情報）

川下~~（例：家具メーカー）~~案

< 必須項目 >

基本情報	事業者名	〇〇株式会社
	住所	〇〇県〇〇市〇〇
	業種・属性	家具メーカー
	従業員数	〇名
	資本金	1,000万円未満
事業概要	取扱製品	家具（イス、テーブル）、楽器（木琴、）・・・
	取扱主な原材料樹種	コナラ、アベマキ、・・・
その他	PFへの参加目的	
	抱えている課題	
連絡先	担当者名	
	電話番号／メールアドレス	

< 任意項目 >（ここからの記載は任意になります）

基本情報	業種	家具メーカー
	技術者数	〇名
事業概要	昨年の 原材料 購入実績	〇m³程度
	調達元範囲	〇〇県内、〇〇県
	製品販売先	卸売り、ネット販売
	昨年の 製品 販売実績	〇脚程度
	森林認証情報	FSCのCoc取得
	製品等の写真	あり（クリックすると写真へ）
	納品実績	〇〇空港の椅子、など
	商品紹介ページ	URL：・・・・・・・・・・
今後の展望	今後の自社での取組	国産の△△の使用量を増加させる予定
	今後の周辺の動向	競合の需要増により〇〇が確保しにくくなっている

エントリーシート（基本情報）

市場案

＜必須項目＞

基本情報	事業者名	〇〇市場
	住所	〇〇県〇〇市〇〇
	業種・属性	原木市場
	従業員数	〇名
	資本金	1,000万円未満
事業概要	取扱製品	原木、製品
	主な樹種	コナラ、アベマキ、・・・
その他	PFへの参加目的	
	抱えている課題	
連絡先	担当者名	
	電話番号／メールアドレス	

＜任意項目＞（ここからの記載は任意になります）

事業概要	広葉樹を扱う市の時期	半年に 1 回程度
	集荷範囲	〇〇県内、〇〇県
	昨年の広葉樹の出品実績	〇m³程度
	参加者の業種	製材業者
	森林認証	FSCのCoc取得
	合法木材供給認定事業者の認定	有
今後の展望	今後の自社での取組	
	今後の周辺の動向	

エントリーシート（物件情報：供給）

森林所有者案

< 必須項目 >

森林概要	森林の所在地	〇〇県△△市××
	森林面積	〇ha
立木情報	主 要 な樹種と割合	コナラ、アベマキ等〇種

< 任意項目 >（ここからは記載は任意になります）

森林概要	地番	
	境界の目印	杭、ペンキ、地形、林相など
	隣接の森林所有者の所在	3名とも集落に所在
	共有状況	なし
	法令制限	該当なし（保安林、自然公園など）
	森林計画	森林経営計画認定済 認定番号〇〇
	森林認証	FSC
	斜面の状況	急（30度以上）、中（15～30度）、緩（～15度）
アクセス	基幹道路からのアクセス	国道〇号～県道〇号～町道～〇〇林道
	アクセス制限	町道は〇トン以上のトラックは通行禁止
	林道からの距離	〇〇林道から50m
	森林作業道の有無	なし
	他の所有者の林地の通行	要
立木情報	直近の森林調査年月日	202〇/〇/〇
	森林調査手法	ドローン、標準地など
	材積	200m ³ /ha
	胸高直径	20～60cm
	林齢	60年生
	病虫害	あり
その他	現地図面	2万分の1・5千分の1など
	現場の写真等	あり（クリックすると写真へ）

エントリーシート（物件情報：需要）

川上~~（例：素材生産事業者）~~案

< 必須項目 >

森林概要	森林の所在地	〇〇県内
	主な樹種	コナラ

※境界若しくは伐採可能エリアが明確で、共有者の合意が取れることが前提

< 任意項目 >（ここからは記載は任意になります）

森林概要	上記樹種における材積量	50m ³ 以上
	現場の確認可能 か現地確認の希望	可能 希望
	伐採希望時期	〇年◆月希望
	斜面の状況	急（30度以上）、中（15～30度）、緩（～15度）
	法令等の制限	なしを希望
	森林認証	FSC
	境界の情報	杭などで明確なものがよい
アクセス	林道からの距離	林道から50m以内
	森林作業道の有無	有
立木情報	胸高直径	20～60cm
	林齢	50年生
	病害虫	ナラ枯れがある程度あってもよい
	通直部	多い方がよい。〇mを出したい
	契約方法の希望	生産請負

エントリーシート（物件情報：供給）

川上~~（例：素材生産事業者）~~案

＜必須項目＞

森林概要	森林の所在地	〇〇県△△市××　〇林班い小班
	主 な要 樹種	コナラ、アベマキ等〇種
	材積	〇m ³ /ha
伐採の概要	伐採予定面積	〇ha
	樹種・数量	コナラ〇m ³ 、アベマキ◆m ³ など
伐採後の概要 <small>※伐採が終了している場合</small>	搬出する土場の場所	〇〇県△△市××
	樹種・数量	コナラ〇m ³ 、アベマキ◆m ³ など

＜任意項目＞（ここからは記載は任意になります）

森林概要	胸高直径	〇～◆cm
	病虫害	カシナガ穿孔あり
	森林経営計画	森林経営計画認定済
		認定番号〇〇
	森林経営計画における生物多様性を高めるための取組	あり
	森林認証 （FSC、SGEC）等	FSCあり
	現場写真等	あり（クリックすると写真へ）
伐採の概要	伐採予定時期	〇年◆月予定
	伐採種	択伐
	伐採証明	あり（伐採造林届）
	伐採後の更新	天然更新
伐採後の概要 <small>※伐採が終了している場合</small>	販売時期	〇年△月予定
	末口直径	〇～◆cm
	元口直径（最大）	〇～◆cm
	材長	2 mが8割、直材が取れるものは4 m
	通直部	多
運搬方法	販売方法	〇〇原木市場での委託販売
	直接取引の可否	
	土場 へ の車両の進入について	10t車進入可
	土場の写真等	あり（クリックすると写真へ）

エントリーシート（物件情報：需要）

川中~~（例：製材工場）~~案

< 必須項目 >

木材情報	樹種	コナラ
	末口直径	○～◆cm

< 任意項目 >（ここからは記載は任意になります）

木材情報	原産地	〇〇県内
	品質	小曲がり可能
	数量	50m ³
	元口直径（最大）	○～◆cm
	森林認証	なくてもよい
	伐採証明	クリーンウッド法で認められる証明書が必要
	病虫害の状態	なし希望
	心辺の状態	白太多め
	加工予定の製品	突き板
運搬情報	運搬方法	自社引き取り
	納期	〇月までの納品を希望
	希望参考価格	〇円／m ³

エントリーシート（物件情報：供給）

川中~~（例：製材工場）~~案

＜必須項目＞

製品情報	樹種	コナラ
	製品	板
	規格・寸法	○m×○cm×○cm

＜任意項目＞（ここからは記載は任意になります）

製品情報	品質	節、曲がり・反りなどの程度
	数量	コナラ1,000m ³
	空について	なし
	心辺の状態	白太多め
	乾燥状態現在の含水率	10%
	参考価格	○円
	病虫害の状態	なし
	可能な含水率	○～△%
認証原材料情報	原産地	○○県
	森林認証	FSC
	伐採証明	伐採造林届
運搬情報	運搬方法	委託輸送
	納入までの期間	○ヶ月程度必要

エントリーシート（物件情報：需要）

川下~~（例：家具メーカー）~~案

< 必須項目 >

希望情報	樹種	コナラ
	製品	原木又は板
	規格・寸法	（原木の場合）20cm上・2m （製材の場合）○m×○cm×○cm

< 任意項目 >（ここからは記載は任意になります）

希望情報	品質	（原木の場合）小曲OK（製材の場合）節、曲がり・反りなどの程度
	数量	コナラ1,000m ³ 、アベマキ200m ³ 、・・・
	心辺の状態	希望無し
	空について	玉空
	挽き方	板目
	乾燥状態含水率	乾燥率20%程度
	作業	賃引き希望 、乾燥希望
	参考価格	コナラ：○円
	加工予定の物品	イス
認証情報	JAS認証	あり
	森林認証 （FSC、SGEC）	FSC
運搬情報	納期	○月頃までの納品希望
	運搬方法	自社引き取り

調査研究WG

【ワーキングの目的】

設立団体の機能強化に向け、川上から川下にわたる技術的課題の整理と知見の蓄積、人材育成を通じて、広葉樹利活用の実装力を高める。

【WGでの検討内容】

令和8年8月28日に第1回WGを開催し、本年度の具体的な取組を検討。

1. 伐採分野における技術の継承・人材育成（川上人材）

令和9年度以降、プラットフォームにおいて、発起人等の協力を得て、素材生産等の事業体の①経営者等を対象とした川中下需要に対応した適切な採材技術、②現場作業者を対象とした安全かつ効率的な伐倒技術の理解促進を目的とした研修を、東日本（秋田、長野等）、西日本（岡山、熊本等）で開催することを目指して、具体的な検討・調整を進める。
※需要に応じた採材の基準や広葉樹伐採の安全のガイドライン作成について、研修を実施する中で、内容等の目合わせをしていく。

2. 製材乾燥分野における技術の継承・人材育成（川中人材）

令和9年度以降、プラットフォームにおいて、製材機械のメンテナンス人材の枯渇（目立て・機械整備）と言ったことも含め、製材乾燥分野における課題について取り組む優先順位を絞り込むための発起人等へのアンケートや意見交換等を進める。

3. 里山広葉樹林の管理、利用による環境貢献の評価手法の検討、手法の対外的発信（環境貢献）

広葉樹の施業等に際する環境配慮の自主行動規範※の作成・実施等も見据え、CRL認証、持続可能性に配慮した木材供給・利用に係るガイダンス、森林認証など既存制度の整理、更新等施業に係る研究者等へのヒアリングや協力依頼の実施、樹木の伐採地情報などを共有できそうなシステムの知見の収集・整理

※ 自主行動規範のイメージ（例示）

以下のような環境配慮について取り組むことを宣言し、宣言事項に取り組む事業者であることを表示。取組事項の数を★の数等で表現する仕組みも可。

1 取組の理念

2 取組事項

2-① 更新に影響を与える要素（前生稚樹の状況、競合植生の状況、シカ被害の有無等）を考慮し、伐採前後に必要な対応に取り組む

2-② 研修を受講するなど適切な更新等に係る知識の習得に努める

2-③ 更新状況等についてモニタリングしている

2-④ モニタリング結果について対外的に見える化（発信）する

※針葉樹と異なる広葉樹の特性等について良く意識して検討。

4. 会員向けセミナー

会員の広葉樹利用に係る知見の向上や相互研鑽、会員間のネットワーク構築等に資するよう、原則会員を対象とし、発起人によるリレートーク（オンライン）、川上人材の現地研修（現地 1 ～ 2 泊程度）、更新等施業に係る現地研修（現地 1 ～ 2 泊程度）等を会員無料、会員以外有料（1 回目は無料）といった形で、1 ～ 2 月に一回程度の頻度で実施する。

【今後のスケジュール】

年	2026				2027			
月	9	10	11	12	1	2	3	4～
設立準備協議会	第2回協議会 (9/30)		第2回WG	第3回協議会 団体設立公表			第3回WG	団体本格 始動
川上人材	研修内容の作成		研修講師の選定 研修場所の選定		研修講師への 協力依頼		講師や研修場所 関係者との調整	
川中 人材	発起人等へのアンケートの準備・実施				発起人とのオンライン意見 交換			第1回 実施
環境 貢献	研究者ヒアリング (研修協力依頼)		既存制度等 の中間整理		研究者ヒアリング (研修協力依頼)		ヒアリング等 のとりまとめ	
会員向 けセ ミ ナ ー	R9 計画の作成 発起人等講師への依頼				1 ～ 3 回の講師との調整・ 募集チラシ等作成			

本日の決定事項

議案① 団体名（通称も含む）

議案② 設立趣旨

議案③ 会員サービスの骨子

議案④ 会員制度の骨子

議案① 団体名（通称も含む）

【事務局案】

一般社団法人 里山広葉樹利活用・再生機構

（通称：SATOCO）

（設定理由）

川上から川下まで様々なステークホルダーが関与することで、里山広葉樹の利活用を進めていくこと、また、その利活用を通じて荒廃が進む里山林の再生を図るため、両者を示す形の団体名としたい。また、より多くの消費者に対してもその活動を波及していくことから、「通称」として広く親しみやすい名前を設定。

（※）さとやまこうようじゅ から「SATOCO」とした。「CO」には「共に」の意味を込めた。

議案② 設立趣旨

【第1回での議論も踏まえ以下の通り修正】

荒廃が進む里山の広葉樹林について、その利活用及び適切な整備を推進することにより、生産から消費に至るまでの一体的な取組を通じて、持続可能な地域資源としての再生を図るとともに、我が国における新たな里山のあり方の提示及び広葉樹文化の再興を目指すものである。

このため、川上から川下に至る広葉樹に関わる多様な関係者が参画し、情報共有及び協働の促進、技術の継承並びに現場課題の解決に向けた調査研究、さらには国民への普及啓発及び政策提言等を一体的に推進する場として、本団体を設立する。

また、本団体が会員相互の持続的かつ発展的な活動基盤となるよう、「広葉樹を整備する者・活用する者」のみならず、その理念に賛同する「価値を創出する者」「制度を構築する者」「それらをデザインする者」、さらには「地域におけるコーディネート機能を担う者」など、多様な主体の参画を得ながら、自律的かつ継続的に発展していくことを目指し、これらの活動を通じて、生物多様性の回復、森林・林業・木材産業の持続的発展、地球環境の保全及び地方創生への貢献を図るものである。

議案③ 会員サービスの骨子

各WGでの議論も踏まえ、会員サービス案は以下のとおりとしたい。

(1) 情報の共有とサプライチェーンの構築

(ア) 会員情報のデータベース化と共有（ヒトをつなげる）

- ✓ 会員情報（基本情報）を一元管理するデータベースを構築し、会員限定でウェブサイト上に情報を公開します。
- ✓ 会員はデータベースにアクセスすることで、これまで見えにくかった取引先候補の検索が可能となり、新たな取引先の開拓や最適な取引先とのマッチングを効率的に行うことが可能となります。

【基本情報のイメージ】

（ 必須項目：会社名、所在地、事業内容、
任意項目：取扱樹種、生産品目、年間の原木消費量生産能力、所有機械 等 ）

(イ) 需要情報・供給情報のデータベース化と共有（モノをつなげる）

- ✓ 上記会員情報と合わせ、広葉樹の個別取引にかかる需要情報と供給情報（物件情報）を一元的に収集・共有するデータベースを構築し、会員限定でウェブサイト上に公開します。
- ✓ 川上から川下までの会員それぞれが、個別物件の需要情報（売りたい）と供給情報（買いたい）をデータベースに入力し一元管理。会員は需要情報、供給情報の双方にアクセスすることができ、求める樹種や規格での取引を容易にします。将来的には、情報の入出力はアプリで簡単に実施可能にすることを目指します。

【物件情報のイメージ】

（ 需要情報：こけし向けミズキ原木が○m³欲しい、公共物件フローリング向け△県産クリ板材が□m³欲しい
供給情報：ホオノキ原木（直径○～○cm、長さ△m）□m³を土場で売ります、サクラの節ありの板（○cm×○cm×○cm）●枚を売りたい ）

(ウ) 広葉樹市況情報の共有

- ✓ 適正な取引等を行うため、広葉樹の市況情報（原木市場における樹種毎の価格等）を会員限定でウェブサイト上に公開します。

(エ) 個別プロジェクトの設立支援

- ✓ 各地域での広葉樹ネットワークの構築に向けた実施体制づくり（例えば、地域ブロック単位で共同の土場や製品ストック倉庫の整備や、製品に至るまでのリードタイム解消に向けて基金を造成するなど）を支援します。

（２）会員限定セミナーの開催と人材育成

（ア）会員向けセミナーの開催

- ✓ 業界に精通した専門家や有識者を講師とするセミナーを会員限定で定期的で開催します。セミナーはオンラインによる業界有識者からの講演のほか、特徴的な取組を行っている事業者の現場等において広葉樹の採材や施業に係る現地研修を開催するなど、会員相互のネットワークの構築も実施します。

【セミナーのイメージ】

オンライン：最新の流通・需要トレンド、樹種毎の販路説明など会員企業の取組紹介、関連施策等の最新情報

現地研修会：採材・施業・労働安全の研修会など

（イ）会員交流会の開催

- ✓ 会員相互がリアルに交流し、製材・乾燥・販路など様々な情報交換を行う場を設定することにより、課題解決に向けた検討機会や、新たなサプライチェーンの構築等につながる場を提供します。

（ウ）ニュースレターの配信会員交流会の開催

- ✓ 補助金等の関連施策、地域の先進事例、イベント情報、市況情報、会員活動等を紹介するニュースレターを、定期的に受け取ることができます。
- ✓ 受動的な会員についても定期的な情報発信により、いざという際に相談しやすい体制を構築します。

（エ）施業等の体系づくり等

- ✓ （ア）のセミナーや（イ）の会員交流会等での議論を基に、例えば、広葉樹伐採の労働安全性向上に向けたマニュアル作り、地域別・樹種別で取り組まれている既存の施業研究のデータベース化、研究者とのネットワーク構築等、現場技術の向上に向けた体系づくりに向けて取り組みます。

(3) 広報普及・政策提言活動

(ア) 会員製品のPR

- ✓ 実際に様々な樹種・規格の広葉樹が使われている事例を紹介するためにも、会員が生産する製品を SATOCO のウェブサイトで紹介します。

(イ) SNS等による広葉樹活用意義の発信

- ✓ 広葉樹利活用と再生の知名度向上を図るため、業界内外に向けた広報活動を実施するとともに、業界誌やウェブメディアへの情報発信、SNSを活用したプロモーションなど、多様な広報手段を通じて会員企業の取組や強みを広くPRします。

(ウ) 展示会等への共同出展

- ✓ 国内外の木材関連展示会や商談会への団体出展を企画・調整し、共同出展によるコスト負担の軽減はもとより、団体を通じることで、個社単独では得られない信頼性や集客力を発揮することが可能となり、会員企業の新規顧客開拓や販路拡大につながります。

(エ) 政策提言活動

- ✓ 広葉樹利活用と再生に向けた現場課題の解決を図るため、政府等に対する政策提言活動を行います。

(4) その他（学生会員の参画、技術者等の表彰）

(ア) 学生会員の参画

- ✓ 学生会員が参画することで、在学中から業界関係者と直接つながるネットワークを構築します。これにより、会員事業者にとっても、広葉樹利活用に興味のある学生に効果的にアプローチすることも可能となります。

(イ) 技術者等の表彰

- ✓ 広葉樹の利活用や再生に取り組む優良技術者、先進的な地域の取組を表彰し、その技術等を内外に広くPRします。

議案④ 会員制度の骨子

各WGでの議論も踏まえ、会員サービス案は以下のとおりとしたい。

(1) 会員制度の設計

会員範囲は、森林管理・素材生産、加工・流通等を行う事業者のほか、建築・設計、その他一般企業等まで広く会員の対象とし以下の区分とする。

(ア) 社員会員

法人の運営に参画し、事業の実施方針を検討する会員（総会での議決権あり）

(イ) 法人会員・個人会員

SATOCO のサービスを楽しむ会員。事業規模（資本金等）により会費に差をつけるほか、個人事業主で実施している薪炭生産者、木工事業者等も参画しやすい会費区分とする。

(ウ) 賛助会員

地方公共団体や大学・研究機関、NPO など、直接的な会員サービスの享受ではなく、会員との連携を楽しむ者とする。

(エ) 名誉会員

団体の理念的支柱や、活動に対する功績・知見・社会的信用を顕彰する会員の区分（各界の代表者等）。

(2) 会費制度の設計

会費は多様な主体の事業者が参画できるように、また、川上事業者、個人工房等の小規模事業者でも参加しやすい会費設定とすることから以下のとおりとしたい。

区分	資本金又は従業員数	年会費	入会金
社員会員 A	1 億円以上又は 300 人以上	600,000 円	0 円
社員会員 B	1,000 万円以上 1 億円未満又は 100 人以上 300 人未満	300,000 円	0 円
社員会員 C	1,000 万円未満又は 100 人未満	120,000 円	0 円
社員会員 D	(団体への事務所提供又は在籍出向の人材協力)	0 円	0 円
法人会員 A	5 億円以上又は 300 人以上	480,000 円	50,000 円
法人会員 B	1 億円以上 5 億円未満又は 100 人以上 300 人未満	240,000 円	30,000 円
法人会員 C	1,000 万円以上 1 億円未満又は 20 人以上 100 人未満	60,000 円	20,000 円
法人会員 D	1,000 万円未満又は 20 人未満	30,000 円	10,000 円
個人会員	(薪炭生産者、個人工房、アトリ作家など)	12,000 円	3,000 円
学生会員		3,000 円	0 円
賛助会員 A	(都道府県)	120,000 円	30,000 円
賛助会員 B	(市町村)	60,000 円	20,000 円
賛助会員 C	(大学・研究機関・NPO 等)	30,000 円	10,000 円
名誉会員		0 円	0 円

※1 月割り計算が可能な年会費とした。

※2 いかなる退会の場合であっても納入後の返金はしない。

※3 区分の基準は資本金又は従業員数としているが、年会費が低くなる方に区分する。

※4 従業員数は、中小企業基本法上の「常時使用する従業員」とする。

※5 本社、本店に加えて支社、支店が入会する場合など、詳細設計は追って定める。